

農縁だより

沼田市の農業をもっと身近に！



回 覧

第4号

令和5年12月1日発行

編集・発行 沼田市農業委員会事務局
沼田市下之町888 Tel.0278-23-2111

農業まつりが開催されました



開会式の様子

10月14日 秋のビッグイベントである沼田市農業まつりが金井農業委員会長の開催宣言によりスタートしました。令和元年度開催以来の久しぶりの秋のお祭りです。私たち農業委員・推進委員も農産物の販売担当と福引担当に分かれて参加しました。手作りコンニャク、大根、自家農園産のリンゴジュースなど、販売テントにはたくさんの農産物が並びました。また福引コーナーも特等の県産牛肉をはじめとする賞品が山積みでした。

農産物を買う人も福引を引く人も、このお祭りを楽しんでいる様子が印象的でした。販売を担当したり福引を担当している私たちも楽しく、委員相互の親睦も図ることができました。やはり開催することが

できてよかった、人が集うことの大切さを改めて感じた秋の一日でした。たいへんお世話になりました。

会長職務代理者
(農業委員)

遠藤 由理子



直売所



抽選会場

『ぬまた農縁』を開催しました

『第3回ぬまた農縁』10月21日 土曜日

男性8名・女性4名にご参加いただき
あっちゃんりんご園で開催しました。

「ぬまた農縁」とは農業体験などを通して出会いのきっかけを作ることを目的とした農業後継者応援事業です

来年度の開催も
予定しております！

20代 男性
「普段とは違って
ゆったりとできて本当
に良かったです。」



40代 女性
「素敵な時間を皆さんと
共有できて良かったです。
これからもこういう企画が
あれば参加したいです。」

20代 女性
「ガーランド作りもりんご狩りも、協力しながら楽しくて
きたので良かったです。」

時折北風が吹きつける肌寒い日でしたが、りんご園の中はすがすがしい一日でした。りんご狩りのときからなごやかに笑顔で話したり、ガーランド作りでも教え合ったりしながら個性豊かな作品を作り、楽しい時を過ごせたと思います。駐車場で参加者がいつまでも話していて、良い出会いの場が提供できたとしたら良かったと思います。これからも続けていけるよう参加者を募集しております。(農業委員 小林 喜久代)

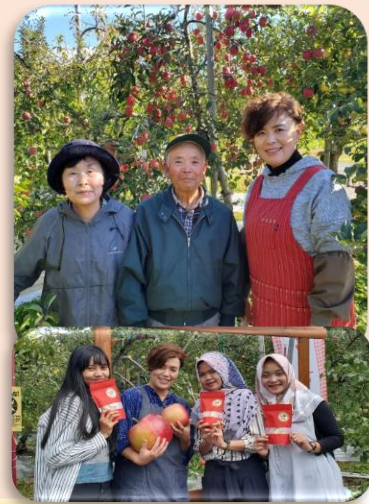


～農業委員会 リレートーク～



リレートーク2人目は、阿部純子さんです！中発知町でりんご園を営んでいます。

今年度から農業委員としてお世話になっております。就農17年目、今年、父から事業を引き継ぎました。新米委員ですが、先輩委員や事務局、地域の方々にご指導いただきながら、理解を深めて活動していきたいと思っています。今まで知らなかった仕組み、取り組み、役割など、本当に勉強になっています。初めは「私に出来るのか？」と不安でいっぱいだったのですが、今では知識が増えて行く事により難さを感じています。また、女性委員の方々と女性の立場で考える農業や地域の関わりなども、とても楽しいです。これからもポジティブに前進していきますので、よろしくお願いします！（農業委員 阿部 純子）



春山明子の野生動物被害対策コラム「②サル被害と冬のクワ」

こんにちは。私は野生動物による被害対策の仕事をしている株式会社群馬野生動物事務所の春山明子です。2回目の今回は、これからの時期の被害と対策として、皆さんに知っていただきたい野生動物による被害防止対策についてまとめてみました。

利根沼田地域は、蚕神が祭られている神社があるとおり、昭和の時代には養蚕が非常に盛んでした。今も各所に残る大きなクワの木は、その名残です。実はこのクワの木が、利根沼田地域の鳥獣害を助長する原因のひとつになっています。積雪期になると、道路脇のクワの枝が、白く骨のようになっていたのを見かけることがあります。これは、サルがクワの枝の樹皮を剥いて食べた痕です。クワの葉は、カルシウムがキャベツの60倍含まれており、他にも鉄分やミネラルや亜鉛が豊富で、栄養価が高い植物とされています。10年以上前の利根沼田地域は、大きなサルの群れが複数あり、甚大な被害が発生していました。今は捕獲や追い払いなどの対策が功を奏し、大きな群れは減りつつあり、被害も減少傾向です。一般的に、積雪がある地域のサルは、冬期の餌不足から、特に若い個体の生存率が低い傾向があります。しかし、利根沼田地域では、このクワの木を採食することで、若い個体も餌が厳しい冬期を乗り越えることができ、群れの個体数を増加させてきました。そのため、獣害対策として多くの方にクワの伐採を勧めてきましたが、大きく成長したクワの伐採は難しく、また伐採後も伐根しなければ再び芽が出ることもあり、クワは利根沼田地域のサル対策の障害となっています。クワに限らず、カキやキウイフルーツなどの放棄果樹は、野生動物の格好の餌となっており、個体数減少の妨げになっているばかりか、野生動物が人の近くに出没する原因にもなっています。クマについても同じことが言え、今年10月に沼田駅近くの榛名坂に出没していたクマはカキを食べに来ていました。

一見、鳥獣害対策と無縁に思える不要桑や不要果樹の除去ですが、森と住宅が近い利根沼田地域では、重要な対策となります。身の安全を守り、農作物の被害を減らすためにも、この冬期の間に、周囲の環境を見直してみてはいかがでしょうか。



女性の新任委員初任者研修会

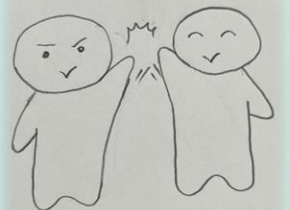
～女性にしかできることを生かす～

10月11日水曜日、全国農業委員会女性協議会事務局が主催の「女性の新任委員初任者研修会」が開催されました。沼田市農業委員会から3人、農業委員会事務局から1人が参加しました。宗像市や大洲市の農業委員会の方、全国農業委員会女性協議会の会長が講演をし、女性委員の必要性や農業者との向き合い方について学びました。

『雑談力・話を聞く力』

講演をされた方が何度も口にした言葉です。「女性農業委員は農業者と打ち解けるのが早く、農業者の本音を引き出す力に長けている。」とのこと。その力を最大限に活用させるために、女性農業委員は実際に農業者と話し合う経験を積み、疑問点があれば勉強会を開くなどの「行動を起こす」ことが大切であると演説者は語りました。

女性農業委員を増加させることは、農業委員会全体で考えるべきことです。そして、男女関係なく誰もが活躍できる農業委員会を沼田市でも作り上げましょう！



農業委員会からの連絡・編集後記

令和5年8月下旬から10月に農地利用状況調査が実施され、無事に完了いたしました。ご協力ありがとうございました。この後、令和6年1月には利用意向調査の実施を予定しております。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

今回初めて農縁だよりの編集にたずさわりました。読んでいて「楽しい、ためになる」記事を提供できるよう、頑張ります。よろしくお願いいたします！（農業委員会事務局 石坂 万陽）

